

汽水域研究会2012年大会

島根大学汽水域研究センター第19回新春恒例汽水域研究発表会

合同研究発表会プログラム

2012年1月7日(土) 島根県民会館 3階「大会議室」

9:10- 9:15 開会の挨拶(汽水域研究会会長)

9:15-10:30 常設セッション 「保全再生」

10:30-12:00 常設セッション 「汽水域一般」

— 昼休憩 —

13:00-17:30 汽水域シンポジウム 2012

「堤防開削事業によって本庄水域はどのように変わったのか？」

17:45-18:45 汽水域研究会 2012 年総会

19:00-21:00 懇親会

2012年1月8日(日) 島根県民会館 3階「大会議室」

9:15- 9:45 常設セッション 「保全再生」

9:45-11:15 常設セッション 「生物・生態系・資源」

11:15-12:15 常設セッション 「環境変動系」

— 昼休憩 —

12:45-14:45 常設セッション 「環境変動系」

14:45-15:45 スペシャルセッション

「中海の自然再生事業関連研究」

15:45-17:30 スペシャルセッション

「宍道湖はいまどうなっているか, 2011」

17:30-17:35 閉会の挨拶(島根大学汽水域研究センター長)

会場 島根県民会館 3階「大会議室」



1月7日(土)

常設セッション 「保全再生」 (9:15-10:30)

9:15- 9:30 : 大山周辺の地下水・湧水の水質と代表的湧水の涵養域の推定について

九鬼貴弘(鳥取県衛生環境研)

9:30- 9:45 : 斐伊川水系におけるコアマモの遺伝的多様性と発芽率の関係

岩永千歳・宮本 康(鳥取県衛生環境研)・程木義邦(京大生態研セ)・國井秀伸(島根大汽水域セ)

9:45-10:00 : 島根県東部の宍道湖に発生した沈水植物のマンガンおよび元素濃縮の研究(予報)

石賀裕明(島根大総合理工)・佐野絵里香・塩原秀治(島根大院総合理工)

10:00-10:15 : 湖山池の現在の問題と湖内環境の変遷: ヒシが引き起こす貧酸素化と湖内環境の100年の移り変わり

森 明寛・九鬼貴弘・宮本 康(鳥取県衛生環境研)

10:15-10:30 : 中海(米子湾)浚渫窪地における底層酸素供給実験の事例紹介

増木新吾(鳥取大院連合農学研究科)・清家 泰(島根大総合理工)

常設セッション 「汽水域一般」 (10:30-12:00)

10:30-10:45 : 斐伊川下流域における治水対策の課題と対策 -平成23年9月台風12号を例として-

河野隆重((有)河野技術調査)

10:45-11:00 : 衛星観測データによる汽水域懸濁物質起源推定事例解析

大森康裕(島根大院総合理工)・古津年章・下舞豊志(島根大総合理工)

11:00-11:15 : 多波長リモートセンシングにおける主成分回帰を用いた汽水域懸濁物質推定の基礎研究

岡本 航(島根大院総合理工)・古津年章・下舞豊志(島根大総合理工)

11:15-11:30 : 光学センサMODISの衛星観測データを用いた6S Codeによる濁度推定手法の研究

坂井恭兵(島根大院総合理工)・下舞豊志・古津年章(島根大総合理工)

11:30-11:45 : 中海における水質・底質と貝形虫のモニタリング

横瀬貴之(島根大院総合理工)・入月俊明(島根大総合理工)・瀬戸浩二(島根大汽水域セ)・松本香織・砥上政隆・金子 傑・小草宏樹(島根大総合理工)

11:45-12:00 : 松江平野の古環境(1) -県道大手前線発掘調査に関連して(1) -

渡辺正巳(文化財調査コンサルタント)・瀬戸浩二(島根大汽水域セ)

— 昼休憩 —

汽水域シンポジウム 2012

「堤防開削事業によって本庄水域はどのように変わったのか？」 (13:00-17:30)

13:00-13:05 : 趣旨説明 瀬戸浩二 (島根大汽水域セ)

13:05-13:45 : [基調講演] 有明海の環境問題と諫早湾干拓・開門問題

速水祐一 (佐賀大学低平地沿岸海域研究センター)

シンポジウム I 「環境変化と現状」 (13:45-15:55)

13:45-14:05 : 中海本庄水域における森山堤防部分開削に伴う水質環境の変化と現状

瀬戸浩二 (島根大汽水域セ)

14:05-14:15 : [コメント] ラジウム同位体による中海・本庄工区の湖水の滞留時間

野村律夫 (島根大教育)

14:15-14:35 : 本庄水域の底質環境における森山堤防開削前後の変化と現状

山口啓子 (島根大生物資源)

14:35-14:45 : [コメント] 中海における底質表層の全有機炭素濃度の変化

三瓶良和 (島根大総合理工)

14:45-15:05 : 2006年から2010年までの中海本庄水域における底生生物の変化

倉田健悟 (島根大汽水域セ)

15:05-15:15 : [コメント] 本庄水域におけるメイオベントス (有孔虫, 貝形虫) の変化

入月俊明 (島根大総合理工)・高田裕行 (釜山大)

15:15-15:25 : [コメント] 北部承水路のマクロベントスと環境の季節相

中尾 繁 (自然再生セ)

15:25-15:55 : 音響解析および水質・底質分析による諫早湾浚渫地の環境評価

秋元和實 (熊本大学沿岸域環境科学教育研究センター)

-休憩- (15:55-16:05)

シンポジウム II 「水域の活用」 (16:05-16:55)

16:05-16:25 : 本庄水域におけるサルボウガイ種苗放流の試み

佐々木 正 (島根県水産技術センター)

16:25-16:35 : [コメント] サルボウの環境耐性: 室内実験の結果より

宮本 康・岩永千歳 (鳥取県衛生環境研究所)

16:35-16:45 : [報告] 中海の再生と海藻利用システム - 自然循環型地域社会の構築 -

渡部敏樹 (自然再生セ)

16:45-16:55 : [コメント] 自然再生と地域再生

國井秀伸 (島根大汽水域セ)

総合討論 「本庄水域の将来にむけて」 (16:55-17:30)

野村律夫 (島根大教育)

1月8日(日)

常設セッション 「保全再生」 (9:15-9:45)

9:15- 9:30 : 斐伊川水系および橋津川水系におけるコアマモ個体群の空間的遺伝構造

程木義邦・大林夏湖(京大生態研セ)・宮本 康(鳥取県衛生研)・田中法生(国立科博)・
國井秀伸(島根大汽水域セ)

9:30- 9:45 : 日本国内に生育する塩性湿地植物オオクグの遺伝構造と保全単位の検討

大林夏湖・程木義邦(京大生態研セ)・國井秀伸(島根大汽水域セ)

常設セッション 「生物・生態系・資源」 (9:45-11:15)

9:45-10:00 : 琉球列島における砂泥底内在性無脊椎動物と共生する十脚目甲殻類の多様性

大澤正幸(島根大汽水域セ)

10:00-10:15 : マングローブの根の構造は小型魚類の被捕食率を低下させるのか

南條楠土(東大院農)・中村洋平(高知大院黒潮)・堀之内正博(島根大汽水域セ)・
河野裕美(東海大沖縄セ)・佐野光彦(東大院農)

10:15-10:30 : 本庄工区内に最優占する動物プランクトンはミズクラゲ: 個体群の季節変動

真壁竜介・栗原拓也・上 真一(広島大院生物圏科学)

10:30-10:45 : アサリ浮遊幼生の分布・出現時期に影響を与える要因

佐川美緒・藤井千里・袴田一彬・山口啓子(島根大生物資源)・開内 洋・佐々木 正(島
根県水産技セ)・浜口昌巳(瀬戸内海区水研)

10:45-11:00 : 中海におけるサルボウガイ生息適地判定手法と底質指標値の年変動および季節変化の検討

山崎立樹・鈴木秀幸・山口啓子(島根大生物資源)・瀬戸浩二(島根大汽水域セ)

11:00-11:15 : 宍道湖と中海における仔稚魚の出現様式

横尾俊博・堀之内正博・荒西太士(島根大汽水域セ)

常設セッション 「環境変動系」 (11:15-12:15)

11:15-11:30 : 小川原湖における東北地方太平洋沖地震に関連する津波堆積物のモダンアナログ

山田和芳(鳴教大学学校教育)・原口 強(大阪市大理)・瀬戸浩二(島根大汽水域セ)・
岡崎裕子・中島広海(島根大院総合理工)・永島 郁・秋満 睦(島根大総理)・林田 明・
中野遼馬(同志社大理工)・齋藤めぐみ(国立科博)・五反田克也(千葉商大政策情報)・
北川淳子(日文研)・吉田明弘(東北大植物園)・米延仁志(鳴教大学学校教育)

11:30-11:45 : 青森県小川原湖における水質・底質環境の特徴

永島 郁(島根大総合理工)・瀬戸浩二(島根大汽水域セ)・岡崎裕子・中島広海(島根大
院総合理工)・秋満 睦(島根大総合理工)・山田和芳・米延仁志(鳴門教育大学学校教育)

- 11:45-12:00 : 岡山県瀬戸内市沖における珪藻遺骸群集の水平分布
吉岡 薫 (島根大院総合理工) ・ 廣瀬孝太郎 (福島大共生シ理工) ・ 入月俊明 (島根大総合理工) ・ 野村律夫 (島根大教育)
- 12:00-12:15 : 西日本の沿岸域における近過去の珪藻群集変化と人為的環境改変の関係
廣瀬孝太郎 (福島大共生シ理工) ・ 吉岡 薫 ・ 佐古恵美 ・ 入月俊明 (島根大総合理工) ・ 瀬戸浩二 (島根大汽水域セ)

— 昼休憩 —

常設セッション 「環境変動系」 (12:45-14:45)

- 12:45-13:00 : 瀬戸内海児島湾における現生底生有孔虫 (メイオベントス) の分布と近年の環境変化
辻本 彰 ・ 野村律夫 (島根大教育) ・ 福田賢一 (ナカシマプロペラ) ・ 河野重範 (島根県立三瓶自然館)
- 13:00-13:15 : 周防灘豊前沖の近年の環境と珪藻群集の変化に関する予察的研究
佐古恵美 (島根大院総合理工) ・ 廣瀬孝太郎 (福島大共生シ理工) ・ 入月俊明 (島根大総合理工) ・ 瀬戸浩二 (島根大汽水域セ) ・ 岡田直之 (島根大総合理工)
- 13:15-13:30 : 東南極・スカーレン大池に記録された過去 7,000 年間の古環境変遷史
中島広海 (島根大院総合理工) ・ 瀬戸浩二 (島根大汽水域セ) ・ 伊村智 (極地研)
- 13:30-13:45 : **Changes in Organic Source Materials and Depositional Environments during the Late Holocene Period in North Bolgoda Lake, Sri Lanka**
Amila Sandaruwan Ratnayake, Yoshikazu Sampei and Nalin Parasanna Ratnayake
(Department of Geosciences, Faculty of Science and Engineering, Shimane University)
- 13:45-14:00 : 大山火山南麓に分布する完新世テフラ
奥野 充 (福岡大理) ・ 井上 剛 (福岡大院)
- 14:00-14:15 : 島根県出雲地域における中期完新世の古気候変動と太陽活動
岡崎裕子 (島根大院総合理工) ・ 瀬戸浩二 (島根大汽水域セ) ・ 酒井哲弥 ・ 大木彩加 (島根大総合理工) ・ 山田和芳 (鳴教大学校教育) ・ David L. Dettman (アリゾナ大)
- 14:15-14:30 : 斐伊川周辺流域の河川水の地球化学的特徴
池田友里恵 (島根大院総合理工) ・ 酒井哲弥 (島根大総合理工) ・ 中野孝教 (地球研) ・ 齋藤 有 (高知コアセンター) ・ 申 基澈 (産総研)
- 14:30-14:45 : 森山堤防部分開削前後における中海本庄水域の底質の変化
秋満 睦 (島根大総合理工) ・ 入月俊明 (島根大総合理工) ・ 山口啓子 (島根大生物資源) ・ 倉田健悟 (島根大汽水域セ)

スペシャルセッション 「中海の自然再生事業関連研究」 (14:45-15:45)

14:45-15:00 : 中海米子湾の水収支と栄養塩収支

相崎守弘・高杉由夫 (自然再生セ) ・木戸健一朗 (鳥取大院連合農学科) ・徳岡隆夫 (自然再生セ)

15:00-15:15 : 中海浚渫地底質の酸素消費速度の測定結果について

桑原智之・村上友章・城市 侑 (島根大生物資源) ・木戸健一朗 (鳥取大院農) ・齋藤 直 (エネルギー・エコ・マテリア) ・徳岡隆夫・相崎守弘 (自然再生セ)

15:15-15:30 : 中海, 北部承水路および弓浜承水路における海藻類の分布と現存量把握調査

—海藻の種類, 分布, 現存量の調査法の提案—

川上 豪・香川友二 (自然再生セ) ・梅木敬弘 (中海漁協) ・丸山政夫 (渡漁業組合) ・徳岡隆夫 (自然再生セ)

15:30-15:45 : 承水路のマクロベントスと環境の季節相

中尾 繁 (自然再生セ) ・桑原智之 (島根大生物資源) ・梅木敬弘 (中海漁協) ・丸山政夫 (渡漁業組合) ・徳岡隆夫 (自然再生セ)

スペシャルセッション 「宍道湖はいまどうなっているか, 2011」 (15:45-17:30)

15:45-16:00 : 光合成色素を利用した植物プランクトンの種別の存在量の測定

神谷 宏 (島根県保健環境科研) ・谷 幸則 (静岡県立大)

16:00-16:15 : 宍道湖における植物プランクトンの現状 (2010. 4~2011. 11)

—特にアオコの発生について—

大谷修司 (島根大教育) ・神門利之・崎 幸子・野尻由香里・神谷 宏 (島根県保健環境科研)

16:15-16:30 : 宍道湖と松江堀川における突発的な水草の分布拡大について

國井秀伸 (島根大汽水域セ)

16:30-16:45 : 宍道湖西部における湧水の調査結果について

清家 泰 (島根大総合理工)

16:45-17:00 : 宍道湖の湖水の酸性化問題

野村律夫 (島根大教育) ・河野重範 (島根県三瓶自然館) ・辻本 彰 (島根大教育)

17:00-17:15 : 宍道湖・中海におけるヤマトシジミの深度別野外飼育実験

森高秀信 (島根大総合理工) ・瀬戸浩二 (島根大汽水域セ)

17:15-17:30 : 宍道湖における漁業の現状

高橋正治 (宍道湖漁協)